

花 橘

三崎高校は私にとって・・・

人権・同和教育／研修課長 大西 純

発行日

令和6年10月24日

第8号

発行・編集

三崎高校総務課

もうすぐ文化祭です。私が高校3年生の時、三崎高校は創立50周年を迎え、当時の文化祭も盛大に行われました。その中で、の式典で発表した、当時高校3年だった私の文章です。当時、三崎高校は私にとって「夢を見続けることができる学校」でした。今の三崎高校もそうであると信じています。

私の夢は三崎高校

3年2組 大西 純

三崎高校に入学してから、3度目の冬がやってこようとしている。入学した頃はあんなに遠くに感じていた3年生の教室なのに、今こうして自分があることを不思議に感じてしまう。それほど、高校の3年間は短いものだった。しかし、この短い高校生活を振り返ってみると、一日一日、確実に自分の中で何かが成長し、将来へ向かって歩みはじめている自分の存在を意識することができた。ここまで自分が成長できたのも三崎高校へ入学したからだと思う。

高校生活の中で、私にとって最も大きなできごとは、自分の目標とする先生との出会いがあったことだ。将来のことを、一緒に考えてくれる先生がいるという環境は、私にとっても心強かった。また、クラスの友達との出会いも、欠かすことができない。特に今年の体育祭では、一緒に笑い、時には一緒に涙を流し、クラスの強い絆を、改めて実感した。友達の素顔を知り、その優しさや強さに触れるたびに、自分を知らず、それが私自身の人生観や価値観を本当のものにしてくれた。

今、私は、そんなたくさんのたくさんの大切なものをくれた、この三崎高校に必ずいつか帰ってきたいと思っている。次は、音楽の教師として。今の先生達と一緒に働きたいと思えることができれば、こんなに幸せなことはない。

三崎高校は戦後すぐの頃に生まれた。世の中は、だんだん豊かになり、それに従い、三崎高校も、驚くほどの進歩をとげた。将来、三崎高校が、今までの50年より、ますます発展することは間違いない。新たな50年に向かって、今日もまた三崎高校は動いている。そして、私も夢に向かって動いている。いつか、自分の夢を実現し、この母校へ戻って来れた時、今日のこの喜びを、私は改めて実感できると確信している。

みさこうフェスティバル

9月22日（日・祝）に、三崎小学校体育館でみさこうフェスティバルが開催されました。みさこう応援団や、三崎小学校、伊方中学校のみなさんにも参加していただき、吹奏楽部の演奏のほか、歌やダンスなどを披露しました。地域の方々から盛大な拍手が送られ、会場は温かい雰囲気になりました。今回で3年生が引退し、これからは1、2年生部員がみさこうサウンドを継承していきますので、今後の活躍にご注目ください！また、11月3日（日・祝）の文化祭では、吹奏楽部の演奏や合唱コンクールを行います。ぜひ御家族でお越しくください。



生徒会スタート

生徒会長	漣 俊輔
生徒会副会長	白方 優杏
生徒会副会長	橋本 太一
生徒会書記	前 和幸
生徒会書記	大東 登志輝
生徒会会計	武田 兼太朗
生徒会会計	高月 琉生

9月18日（水）に生徒会選挙を行い、10月から左表のメンバーで生徒会活動を開始しています。生徒会長になった漣さんに意気込みを聞いてみると、「みんなの心に残る学校にしていきたいです。」と熱い思いを聞かせてくれました。保護者の皆様の生徒会活動への御協力をお願いします。

